

特許出願公告及特許拔萃

特許出願公告拔萃

鑄造用造型機 (10年特許公告、第4664號、公告10-11-6、兵庫縣、米北鹿八) 簡易に且迅速に鑄型を型成せんとする目的を以て、型盤を有し一定の位置に制動することを得しめたる吸鑄管を外盤を有する内圓筒内に嵌合し該内圓筒を底部に近く排氣孔を有する中圓筒内に嵌合し該中圓筒を外圓筒内に嵌合し該外圓筒内に定着しある第一通氣管を中圓筒を経て内圓筒内に第二通氣管を中圓筒内に第三通氣管を外圓筒内に夫々連結せしめたる鑄造用造型機。

瓦斯壓力差に依り作動する瓦斯加熱裝置用制御又は調節裝置 (10年特許公告、第4679號、公告10-11-6、獨逸國、コンケルス、アンド、カムパニー、ゲゼルシャフト、ミット、ベンユレンクテル、ハフツング) 從來の此の種裝置に於ける缺點を除去し瓦斯供給を裝置の操作條件に更に良好に適應せしむるを得べき瓦斯加熱裝置用制御又は調節裝置を得んとする目的を以て、瓦斯壓力差に依り作動する弁(瓦斯壓制御體)を裝置の操作狀態(液體壓力又は空氣壓力、液體量又は空氣量又は溫度)の影響を受くる他の補助的制御又は調節裝置に依り該弁が補助的制御又は調節裝置の閉鎖運動に従はざるべからざるも該弁の調節部材(隔膜、浮子)に作用する瓦斯壓力差の影響の下に獨立の制御又は調節運動を爲すを得る如く調整することを特徴とする瓦斯壓力差に依り作動する瓦斯加熱裝置(液體又は空氣加熱器等)用制御又は調節裝置。

Al又は其合金の着色茲に防蝕處理方法の改良 (10年特許公告、第4685號、公告10-11-6、仙臺市、金屬材料研究所長) 原特許の處理を一層容易に且經濟的ならしめ且又白色保護被膜の効果を一層増大せしめんとする目的を以て、無水石灰又は水酸化石灰を以て適當のアルカリ性を賦與せる硫酸カルシウムの水溶液中にて硫酸カルシウムの一部又は全部を酸化チタニウム又は水酸化(Al明礬又はAl原礬石粉として入れる)又はMg或は是等の混合物にて代用せる水溶液中にて目的物を煮沸する事に依り目的物の表面に Al_2O_3 と硫酸Caの混合被膜又は硫酸Caの一部又は全部を酸化Ti或はMgで置換せる混合被膜を化成せしむる事を特徴とするAl又は其合金の着色並に防蝕處理方法。

銲接に関する改良 (10年特許公告、第4720號、公告10-11-6、亞米利加合衆國、エドワード、ジー、ブッド、マンニファクチュアリング、コムパニー) 極小短時間高銲接電流を銲接部に流過して銲接せしむる場合各銲接點の効率及作業の確實性の程度を操縦者に指示して常に充分なる強度及安全率を有する點銲接を行はんとする目的を以て、銲接回路に該回路の電力及極小短時間回路に流るゝ電流の流過時間に應働する計測裝置を設け該計測裝置に表示裝置を連結し此表示裝置が回路の電力及電流流過時間に従つて銲接部に發生したる熱量を基礎として銲接の過不足の表示を記録し或は又極小短時間銲接電流を流過せしむる連續的銲接作業に於ける銲接の過不足を比較的に登録し又は表示せしむる點銲接電氣回路。

賦力層より錫を回収する電解裝置 (10年特許公告、第4710號、公告10-11-8、東京市、加瀬忠作) 電解作業中長尺なる電解槽の液面に原料に附着せる脂肪の鹼化物に依り泡狀に鬱積する水素瓦斯の大量集積を妨げ其引火爆發を各小部分に止まらしめ且つ山形底板の下面に加熱裝置を設くるに適せしめ其上面を電解分離物の轉落採集に便ならしむる目的を以て、水平に横架したる長尺なる金屬製無端輪送帶の一部を長尺なる電解槽内の軌道に縦に間斷なく移行

せしむる如く爲し槽内に陰極板を吊し陽極に連結したる賦力層より錫を回収する電解裝置に於て槽内の上方部を下部の液中に浸漬する如き縦の隔壁にて多數の小部分に區劃し且つ槽の底板を斷面山形と爲して左右に傾斜せしめたることを特徴とする賦力層より錫を回収する電解裝置。

軸承の改良 (10年特許公告、第4719號、公告10-11-8、亞米利加合衆國、ゼネラル、モーターズ、コーポレーション) 高速度高壓力の下に使用するに適したる大なる強さを有し減摩性大なる軸承を得んとする目的を以て、比較的少量の銀を有するカドミウム合金を鋼の基部に一體的に張着して成る減摩外被を備へたる軸承。

金屬管壓出機 (10年特許公告、第4740號、公告10-11-11 東京市、古河電氣工業株式會社) 熔融金屬の大氣と接觸して酸化し酸化物の製成金屬管中に混入して其機械的強度を低下せしむることを防止し以て優秀なる製品を得んとする目的を以て、壓出ラムと壓出筒との間を氣密に封鎖して兩者の相對的運動の際に外氣の壓出筒中に侵入することを防止し且壓出ラム中の縦孔を通して熔融金屬を壓出筒中へ流入せしむることを特徴とせる金屬管壓出機。

半融硬金屬の製造方法 (10年特許公告、第4764號、公告10-11-13、獨逸國、クルト、ヘーベル) 此種從來方法の缺點を除き殊に質緻密にして粘強度に富み割目龜裂及孔隙を有すること無き均質性大なる半融硬金屬を容易に製出せしむる目的を以て、熔融困難なる金屬非金屬或に其の化合物と熔融容易なる補助の金屬との乾燥せる混合微粉末を一の噴嘴より又其の糊劑を他の噴嘴より夫々加壓の下に微細分布状態をなして同時に型内に噴射斯くして得らる、成形片を次に完全に半融せしむる事より成る半融硬金屬の製造方法。

鐵錆の除去用洗滌液 (10年特許公告、第4766號、公告10-11-13、仙臺市、金屬材料研究所長) 熱溶液中に赤錆の附着せる鐵鋼材料又は其の器具を浸すか又は該熱溶液を以て拭ひて簡単に赤錆を除去し且斯く處理する事に依り其の後の鐵面の赤錆發生を防止せんとする目的を以て、苛性加里又は苛性曹達又は石灰又は炭酸アルカリの如きアルカリ性鹽の水溶液中に亜鉛粉末を加へ更にグリセリンを添加せる鐵錆の除去用洗滌液。

銲接裝置 (10年特許公告、第4823號、公告10-11-15、東京市、株式會社芝浦製作所) 豫定せる形狀の接目を銲接し得べき構造簡單にして作働確實なる銲接裝置を得る目的を以て、指導軌道と銲接工具と該銲接工具に廻轉し得る様取付けたる導輪と前記銲接工具を前記軌道に沿ふて動く様支持する裝置と前記導輪を前記軌道と接觸状態に保持する裝置と前記導輪を廻轉する裝置とを具備する銲接裝置。

坩堝製造方法 (10年特許公告、第4827號、公告10-11-15、大阪市、井上彦五) 坩堝製造能率を増進せしむると共に品質良好なる坩堝を得んとする目的を以て、側壁並に底壁に互りて細長き窓孔を有し此窓孔の縁邊を特に銳刃狀となしたる坩堝製造用内型體を設け壺狀の坩堝製造用外形體内に材料黒鉛を水平層狀に充填し此外形體を急速に自轉せしめつゝ上方より前記内型體を徐々に壓下せしめて内型體を其底部より材料黒鉛内に壓入せしむる事により内型體の窓孔縁邊の銳刃にて黒鉛を内型體内に削り入るゝと共に逐次坩堝内腔を削穿構成せしむる事を特徴とする坩堝製造方法。

エロフィン、リボンの定尺切斷裝置 (10年特許公告、第4844號、公告10-11-18、東京市、高砂鐵工株式會社) エロフィン、リボンを連續的に折曲しつゝ、豫め計尺器の調度に応じて其の定尺毎に

自動的に之を切斷せしめ特にエロフィン、リボンの折曲後之を管體に装着するエロフィン、パイプの製造方式に於て管體の寸法に應じエロフィン、リボンを所要定尺に折曲切斷せんとする目的を以て、互に齧合する傘齒狀工具の齧合面間を通してリボン素地を螺旋狀に波曲せしむる工具の旋迴轉に關係して自働歸戻機構を有する特殊の廻轉式計尺装置を其の驅動軸に對して係外自在に齧装し指針盤に附設せる調節指針の位置に應じてエロフィン、リボンの定尺が計量せられたる時電磁作用に依りて瞬時的に切斷機を作働せしむると共に計尺装置を驅動軸より解放して其の起算位置に戻歸せしめ該處に於て即時に驅動軸に對する係合を復舊することに依りエロフィン、リボンを繼續的に送込みつゝ其の定尺毎に之を自動的に切斷すべく成るエロフィン、リボンの定尺切斷装置。

至硬金屬體に貫通圓形を賦形する方法 (10年特許公告、第4845號、公告10-11-18、東京市、三菱鐵業株式會社) 貫通せる任意の内部成形を有する至硬金屬體を製造する目的を以て、微粉末材料を燒成結合して得らるゝ各種の至硬金屬體の加壓賦形素材製作の工程に於て塑型内に賦形素材より直ちに又は半途燒成處理後容易に離脱し得る如く設計したる金屬製の中型を裝填し微粉末材料と共に中型頭端部の加壓面に嵌入適應する如き窪孔又は貫通孔を有する押型を以て中型頭端部か押型加壓面孔内に嵌入する迄加壓し塑型より中型を包藏する素材を取出し更に該中型を素材より其の完全燒結處理工程前に離脱し以て素材に貫通せる任意の内形を賦形したる後之を完全に燒結することにより至硬金屬體に任意の貫通内形を賦形する方法。

噴射鍍金法による多孔性金屬層の生成法 (10年特許公告、第4847號、公告10-11-18、東京市、江澤謙二郎) 形成金屬層を多孔性となし其表面積を可及的に大ならしむる事に依り放熱器其他工業上重要な用途を開拓せんとする目的を以て、噴射鍍金法に依る金屬層の生成法に於て噴射鍍金法により腐蝕性及耐蝕性の異種金屬を同時に噴射せしめて得たる鍍金體を腐蝕液中にて處理して腐蝕性金屬を溶解除去することを特徴とする噴射鍍金法により多孔性金屬層を生成する方法。

鐵板鐵材の銅鍍金防錆法 (10年特許公告、第4848號、公告10-11-18、市川市、江下善吾) 從來鐵板鐵材に於ける銅鍍金の容易に腐蝕せらるゝ不利を除去し從て之を高價なる銅板に代用し主として建築材料たる屋根板、壁板等に有利に使用し得しむる目的を以て鉛又は硬質鉛合金の鍍金を下地或は媒介層とすることを特徴とし此の上に普通の方法に依り銅鍍金を施すことより成る鐵板鐵材の銅鍍金防錆法。

フェロシリコンの熔塊鑄造裝置 (10年特許公告、第4851號、公告10-11-18、東京市、日比勝治) 迅速にして而も良質なるフェロシリコンの熔塊を多數鑄造し得べき簡單適切なる裝置を得んとする目的を以て、表面に所要形及所要數列の凹所を形成し其の裏面に直接接觸する如く冷却流體を循環流通せしめ以て鑄床を構成する金屬體を絶えず冷却状態に支持し熔融せるフェロシリコンの流鑄と同時に之を急速に冷却せしむる事を特徴とするフェロシリコンの熔塊鑄造裝置。

管の螺旋接手の改良 (10年特許公告、第4863號、公告10-11-18、獨逸國、ハンツ、クライデル) 在來のものとは異り震動屈曲伸縮溫度の變化等に依り容易に弛を生ぜず確實有效なる接手を得んとする目的を以て、其内側が漏斗狀に擴張せられたる接手、壓縮片及連結の際壓縮片に依りて管の軸方向に押送られつゝ接手の漏斗狀擴

張部に依りて管に沿ひて誘導せらるゝ金屬製填料環より成り填料環の内部端稜の管の製作材料よりは硬度の高き材料にて作られて鋭き切斷刃を形成することを特徴とする管の螺旋接手。

Alの炭化物生成法 (10年特許公告、第4912號、公告10-11-22、東京市、日本金屬工業株式會社) Al又は其合金に著しく高き硬度と優秀なる耐腐蝕性を附與する炭化 Al を容易に生成し得しめんとする目的を以て、熔融せる Al 又は其合金に鐵或は其合金を媒介として C を滲透化合せしむることを特徴とする Al の炭化物生成法。

鐵地象嵌方法 (10年特許公告、第4913號、公告10-11-22、京都市、小倉源次郎) 鐵地に象嵌殊に巧緻なる細線模様を象嵌を容易安値に施さんとする目的を以て、鐵板に最初に細目の網目狀凹凸を刻設し次に之を瓦斯或は炭火中にて燒きて鐵板の表面に酸化鐵の薄層を構成せしめ次に所要模様を彫設せる押型にて網目面上に軽く第一回模様押壓をなして順次に稀硫酸及稀硝酸中に浸漬洗滌し次に之に所要の象嵌を施し最後に之を前記の押型にて第二回模様押壓をなす鐵地象嵌方法。

Ni鍍よりNi電解液の製造方法 (10年特許公告、第4929號、公告10-11-22、東京市、正木康作) 操作簡單にして經濟的に純良なるNi電解液を得んとする目的を以てNi鍍を粉碎し之を濕潤状態に於て鹽素瓦斯を通し金屬鹽化物を作り大部分の鐵を鹽化第一鐵とし空氣の存在に於て鹽化第二鐵又は酸化鐵として沈澱除去し更に多量の石灰を加へ銅及Niを水酸化物として沈澱しMgの鹽化物溶液と分離し前記工程に於ける沈澱物に鹽素瓦斯を通して金屬を鹽化物となし少量のmgと少量の鐵とCu及Niの鹽化物の粗結晶を作り之を900°Cに於て焙燒しNi鐵及銅を酸化物として鹽化Mgと分離しNi鐵及銅の酸化物に鹽素瓦斯を通して鹽化物となし電解法及硫化水素にて銅を完全に除去せる後溶液を中和する程度の石灰を加へて鐵を除去する事に依り鹽化Ni溶液を得べくせる事を特徴とするNi鍍よりNi電解液の製造方法。

鉛合金製造方法 (10年特許公告、第4931號、公告10-11-22、亞米利加合衆國、インターナショナル、スタンダード、エレクトリック、コーポレーション) 斯くの如き鉛合金を製造する經濟的にして有效なる方法を得んとする目的を以て、アルカリ土類金屬の炭化物と炭素に對しアルカリ土類金屬よりも高き親和力を有する元素との存在に於て鉛を加熱し前記アルカリ土類金屬を分離して鉛と合金せしむることより成る鉛及アルカリ土類金屬の合金製造方法。

特許拔萃

| 特許番號 | 名稱 | 特許權者 | 公告拔萃掲載本誌番號 |
|--------|---------------------------------------|---------------------------------|------------|
| 112661 | 銅鐵滿佈 Al 合金 | 海軍大臣株式會社住友電線製造所 | 第21年8號 |
| 113616 | 複合金屬體製造法 | グードラス、ウォール、エンドレットインダストリーズ、リミテツト | ナシ |
| 112825 | 鉛合金 | 吉田淺次郎 | 第21年7號 |
| 112720 | 超微粉炭塵團塊製造裝置 | 日本製鐵株式會社 | ナシ |
| 112834 | 出銑口閉塞機 | 日本金屬工業株式會社 | 第21年8號 |
| 112835 | Al又は其合金の硬化法 | 日本金屬工業株式會社 | 第21年8號 |
| 112930 | 家庭用に適せる成形木炭の製造方法 | 辻行雄 | ナシ |
| 112882 | 石炭燃焼補助劑 | 中安正義 | ナシ |
| 112934 | 自動車發動機又は軌道機關車のガンリン代用燃料として好適する加工炭の製造方法 | 辻行雄 | ナシ |
| 112917 | 耐蝕性高力 Al 合金 | 海軍大臣 | 第21年8號 |